

特別賞

都市計画道路 羽黒橋加茂線街路改築事業

(鶴岡市)

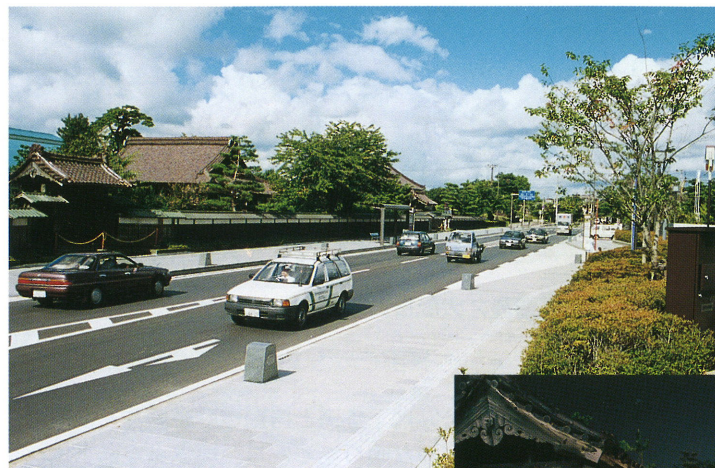
■表彰対象者：山形県庄内支庁建設部

事業のあらまし

本路線は、鶴岡市の市街地中心部を東西に走る幹線道路であり、円滑な交通と良好な都市環境を形成するために整備を行った。また、本路線には致道博物館等の文化財や史跡が数多く残され、周辺施設との調和に配慮し整備を行った。

事業の効果

古い街並みを生かし、周辺地区と調和した街路空間を創造している。都市景観モデル都市の重点地区として、歴史的建造物と一体となった街づくりに貢献している。



沿道の文化財や史跡の風景要素を生かした空間構成

車止めの照明による夜景の演出



- 延長：307m
- 幅員：18～19m
- 全体事業費：1,209百万円
- うち街路事業費：1,209百万円
- 事業期間：平成4年度～7年度

都市計画道路 辻堂停車場辻堂線(羽鳥立体)整備事業

(藤沢市)

■表彰対象者：神奈川県藤沢市土木事務所
藤沢市辻堂駅前整備事務所

事業のあらまし

羽鳥立体は、JR東海道本線が辻堂駅東側で平面交差している羽鳥踏切を立体交差化し、鉄道による地域交通の分断の解消と交通の安全を図り、魅力ある都市環境の形成と活力あるまちづくりを目指し整備したものである。

事業の効果

辻堂駅周辺地区の大きな橋渡し役となる南北道路を結ぶ新しい空間は、交通の利便性だけでなく地域のシンボルとして快適な生活空間を提供している。



整備後(羽鳥立体)



整備前(羽鳥踏切)

- 延長：404.5m
- 幅員：12.0～16.5m
- 全体事業費：7,200百万円
- うち街路事業費：6,800百万円
- 事業期間：昭和63年度～平成7年度

宇治橋橋梁整備事業

(宇治市)

■表彰対象者：京都府土木建築部

事業のあらまし

交通量の増大が著しく、橋の幅員も狭小であることから慢性的な交通渋滞が生じており、都市内の円滑な交通の確保を図るため、事業を実施したものである。

また、創建以来千有余年の歴史的価値を踏まえ、周辺の環境とも調和のとれた整備を行った。

事業の効果

交通隘路の解消や歩行者等の安全が確保された。また、歴史的遺産が点在する周辺環境とも調和し、「平成の宇治橋」は、歴史的な文化都市・宇治のシンボルとして親しまれ続けるものと考えている。

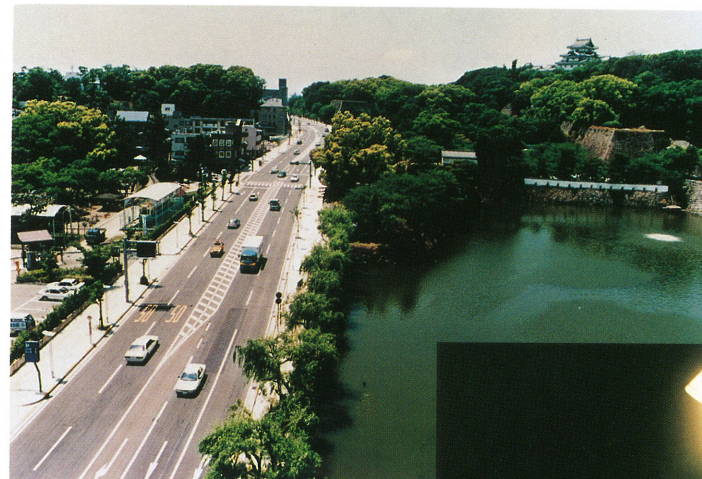


歴史的情緒を醸し出す石灯籠のフットライト



平成の宇治橋(創建大化2年(西暦646年))

- 延長：552m(うち橋梁部155.4m)
- 幅員：25m
- 全体事業費：8,800百万円
- うち街路事業費：7,100百万円
- 事業期間：昭和62年度～平成7年度(H18.3.28橋梁部供用開始)



周辺の景観とマッチした道路整備



ライトアップされた和歌山城を背景にした道路

都市計画道路 和歌山港鳴神山口線整備事業

(和歌山市)

■表彰対象者：和歌山県和歌山市土木事務所

事業のあらまし

和歌山市中心部のボトルネックの解消及び交通渋滞の緩和を図るもので、道路整備に併せた電線の地中化や和歌山城周辺施設の景観(美術館・博物館)にマッチした整備を行うことにより、和歌山市の代表的な景観の形成を行う。

事業の効果

和歌山市中心部のボトルネックの解消により、交通の円滑化が図れ、また和歌山城周辺施設にマッチした重層的な空間を形成し、夜間は「銀の並木道」として市内の新しいデートスポットになっている。

- 延長：550m
- 幅員：25m
- 全体事業費：5,800百万円
- うち街路事業費：4,492百万円
- 事業期間：平成元年度～7年度

都市計画道路 八代臨港線

(八代市)

■表彰対象者：熊本県土木部 八代市建設部

事業のあらまし

八代臨港線整備事業は、九州自動車道八代ICと重要港湾八代港を相互にアクセスする広幅員の道路として、都市圏の骨格となる東西幹線軸を形成するとともに、景観にも配慮した整備を行ったものである。

事業の効果

市の東西を最短距離で結ぶ市民待望の本路線が開通したことによって、物流産業拠点の発展と市街地の活性化を促す都市の大動脈として、その成果は着々と上がっている。



起点(国道3号)より終点側を望む

- 延長：4,230m(全体9,770m)
- 幅員：32m
- 全体事業費：20,000百万円
- うち街路事業費：12,500百万円
- 事業期間：昭和50年度～平成7年度



煉瓦造りの歩道と電線類の地中化による景観整備



からくり人形と用水路をイメージした親水施設

沿道区画整理型街路事業本町通線

(加世田市)

■表彰対象者：鹿児島県加世田市都市建設部

事業のあらまし

本町通線は、旧南薩鉄道加世田駅前に発達した加世田市の中心市街地であり、魅力ある商店街としての賑いを取り戻すべく、地区一体として整備を図るため、沿道区画整理型街路事業により実施したものである。

事業の効果

「賑わいと活気に満ちた街づくり」を理念とし、地元商店街と一体となり、安全・楽しく歩ける街として煉瓦造りの歩道・デザイン街路灯・からくり人形等景観整備がなされた。

- 延長：345m
- 幅員：18m
- 全体事業費：2,577百万円
- うち街路事業費：2,577百万円
- 事業期間：昭和62年度～平成7年度